

< 論文 >

## 映画字幕に見られる「短い応答」の訳の特徴

牛江ゆき子      西尾道子

(文京学院大学) (お茶の水女子大学)

### Abstract

Movie subtitles need to be concise as they are flashed only for a brief period of time across the screen. In conversations seen in movie subtitles, the participants' contributions are not equal in length, and some responses are brief. This paper explores 1) whether brief responses seen in conversations are omitted or retained in subtitles; and 2) what seems to be the determining factor for omitting brief responses. We argue that the omission or the retention of a brief response depends on whether or not the audience is able to see the direction the brief response is going to take without an explicit linguistic cue.

### 1. はじめに

#### 1.1 本稿の目的

映画のスクリーンに一瞬現れて消える字幕は時間的・空間的に制限のある翻訳と言える。またドキュメンタリー映画などを除いたいわゆる劇映画の字幕は、映画の登場人物(話者)のせりふを訳出したものであるので、ほとんど会話の訳文によって成り立っていると言える。会話における一人の話者の発話内容を字幕の字数の中に過不足なく盛り込むことも十分に困難なことであると言えるが、話者交代が短時間に頻繁に起こっているような会話のやりとりを字幕に盛り込むのはさらに困難さが大きいと考えられる。字幕においてどの台詞がどの話者の発話かを示すのは難しいからである。また、会話において二人の話者がいた場合、二人の発話がほぼ同じ長さであることもあるであろうが、Aの発話に対してBは短い応答をするのみという場合もあると考えられる。

AとBが行う会話においてAの発話に続くBの発話が短い応答にとどまっているような場合、Bの発話は字幕においてどのように処理されるのであろうか。話者交代の面倒な処理にもかかわらず、短いながらも訳出されるのであろうか？それとも、訳出されないで字幕上は消されてしまうのであろうか？

映画では、登場人物の発話の言語表現だけでなく、音声と映像からも豊富な情報が得られる(藤濤(2007))。Hatim and Mason (1997: 79) は、字幕翻訳と、音声や映像との関係について次のように述べている。

As Chaume (forthcoming) points out, the acoustic and visual images are inseparable

in film and, in translating, coherence is required between the subtitled text and the moving image itself. Thus, matching the subtitle to what is actually visible on screen may at times create an *additional constraint*. (イタリックは筆者による)

映画の音声と映像は、字幕翻訳に対して「制約」を与えるものとして捉えられている。一方、戸田 (1997: 47, 49) は、映画の字幕翻訳において、字幕の言葉と「画面の細かい動きやディテール」を合わせる努力が必要であると述べるとともに、「せりふの感情や、俳優の声の調子を生かす」努力が重要であると述べている。戸田は、映像や音声を単なる制約として捉えず、生かされるべきものとして捉えている。音声と映像は字幕翻訳に対してどのような影響を与えているのだろうか。

また、節の省略・保持に関する原則として、Diaz Cintas and Remael (2007: 64) では、“Since subtitling focuses on those items that are informationally most relevant, often context renewing clauses are retained, whereas context confirming ones are dropped.” と述べられている。

牛江・西尾 (2002) では英語映画の日本語字幕において頻繁に見られる主語、目的語、動詞といった文の要素の省略に注目し、統語的な特徴、情報構造上の特徴、語用論的な特徴について考察している。日本語の文は主語や目的語といった文の主要な要素がなくても成立することが多いため、これらの要素がしばしば省略されるが、情報構造上、新情報や重要な情報を担う要素は省略されにくいということが明らかにされている。また、言語的・非言語的な文脈から推測しやすい要素が省略されやすいが、推測しにくい要素であっても、担う情報の重要度が低いものは省略され得ることが示され、情報の重要性と言語的・非言語的な文脈からの推測可能性という二つの要因が文の要素の省略に関係していることが明らかとなっている。

本稿では、牛江・西尾 (2002) で考察の対象から外されている発話全体(より具体的には、「単独で一つのターン(話者交代あるいは場面転換まで一人の話者が話すまとまり)を構成する短い応答」)の省略について考察したい。特に、短い応答の場合に 1) 訳出される場合とされない場合を分けるのは、応答が担う情報や機能の重要性の度合いなのか、それとも、応答が担う情報や機能の言語的・非言語的文脈からの推測可能性の度合いなのか、2) どのような基準で省略されるのか、3) 映像と音声は訳出にどのように関係しているのか、に焦点をあてたい。以下、2 節で日本語映画の英語字幕における短い応答の省略・訳出を考察し、3 節で英語映画の日本語字幕における短い応答の省略・訳出を考察する。

## 1.2 データと表記方法

本稿で考察するデータは、1995 年以降に制作された日本語映画 2 本と英語映画 2 本の台詞の原文と字幕から取った。日本語映画の台詞の原文と英語字幕のデータは、英語字幕が英語の母語話者によって作成されている『ALWAYS 続・三丁目の夕日』(2007) (以下、『続・三丁目の夕日』と略記)、『Shall we ダンス?』(1996) の 2 本の映画の DVD から収集した。<sup>1</sup> 日本語の台詞は、DVD の日本語字幕ないし音声を書き取った(日本語字幕と音声との間にずれがある場合には、音声を優先した)。英語字幕は、DVD の英語字幕から収集した。英語

映画の台詞と日本語字幕のデータは、*A Beautiful Mind* (2001) 、 *Love Actually* (2003) の2本の映画から収集した。前者の英語の台詞と日本語字幕は、市販のソフトウェアの英語字幕と日本語字幕から収集した。英語の台詞の音声と英語字幕との間にずれがある場合には音声を書き取った。後者の英語の台詞は、映画の台詞を文字化して掲載している本から収集し、本の台詞と映画のDVDの台詞との間にずれがある場合には、DVDの台詞音声を書き取った。日本語字幕は、映画のDVDの日本語字幕から収集した。<sup>2</sup>

例を挙げる際は、考察の対象とする短い応答のみならず、応答の前後の別の話者の台詞も挙げる。短い応答の後に映画の場面が転換している場合はその旨を記す。台詞を挙げる際は、まず話者の名前を記し、コロンのあとに台詞の原文を挙げ、次の行に字幕の表現を挙げる。考察の対象となる原文の応答に下線を施し、すぐ後にDVD・ソフトウェアの時間表示を記す。時間表示のあとに、応答している話者の口調、表情、身振りなどの情報を( )内に記す。考察の対象となる短い応答が字幕で訳出されていない場合、「φ」で示す。字幕の表現を挙げる際、字幕が二枚以上にまたがっている場合は、「//」で字幕の移行をあらわす。例の最後に映画名を記す。一つの例の中で、話者交代が何回か生じて、同じ話者が複数回、話す場合は、必要に応じて、話者名の後に数字で何回目の発言かを記す。

以下の議論において、映画のオリジナルの台詞を「原文」、字幕であらわされている台詞を「字幕」と呼ぶ。考察の対象となる短い応答を「応答」と呼ぶ。議論の対象となる会話で台詞を言っている登場人物を「話者」と呼ぶ。考察の対象となる「応答」をしている話者を「応答者」と呼び、他の話者と区別する。

### 1.3 考察の対象とする応答

本稿では、単独で一つのターン(話者交代あるいは場面転換まで一人の話者が話すまとまり)を構成する短い応答を考察の対象とする。したがって、(1) と (2) の下線部のように直後に話者交代ないし場面転換が生じている応答が考察の対象となり、(3) の波下線部のように直後に同じ話者の台詞が続く応答は考察の対象とならない。

#### (1) 昌子:明日行くの

Going to the party?

杉山:え? (01:58:08)

φ

昌子:先生 イギリスに行っちゃうんでしょ

She is going to England, right?

(『Shall we ダンス?』)

#### (2) 千景:お父さん やっぱり変

He is acting weird.

昌子:え? (37:38)

φ

(この後、場面転換)

(『Shall we ダンス?』)

(3) Rufus: Looking for anything particular, sir?

何か お探して?

Harry: Yes...Ahm. ( 01:18:03) That necklace there, how much is it?

φ それは・・・ // 幾らかな? (Love Actually)

## 2. 日本語映画の英語字幕において省略・訳出される短い応答

日本語映画の会話に見られる短い応答は、英語字幕において省略される場合と訳出される場合がほぼ半々であった。本節では、日本語映画の英語字幕において省略・訳出される応答がどのようなものかを考察する。

### 2.1 字幕において省略されている短い応答の特徴

本節では、省略されている応答について、重要性和推測可能性という二つの視点から考察を行う。重要性の度合いについては、映画の主要な話の展開に貢献したり、主要なテーマに関連したり、主要な登場人物の性格や思考や主要な登場人物同士の関係などについて重要な情報を提供したりする応答を「重要性が高い応答」とみなす。応答の内容や機能だけでなく、応答に伴う言語外の情報(応答者の口調、表情、身振りなど)が主要な登場人物の心情や主要な登場人物同士の関係などをあらわす応答も「重要性が高い応答」とみなす。このような働きをしない応答(たとえば、単に情報の受け取りの確認をするだけの応答や、登場人物の日常生活を描写するための会話や主な話の展開の背景となる場面の会話の中の応答)を「重要性の低い応答」とみなす。推測可能性の度合いは、応答の内容や機能を、映画の視聴者が、応答に伴う非言語的な情報(応答者の口調や表情、身振りなど)や場面、言語文脈(前後の話者の発話)などから容易に推測することができる応答を「推測可能性が高い応答」とみなし、そうでないものを「推測可能性が低い応答」とみなす。この二つの視点による分類を組み合わせると、応答は、1)推測可能性が高く、重要性が低い応答、2)推測可能性が高く、重要性が高い応答、3)推測可能性が低く、重要性が低い応答、4)推測可能性が低く、重要性が高い応答、という4つのカテゴリーに分類できる。このうち、4)「推測可能性が低く、重要性が高い応答」は、省略されると映画の内容の理解が困難となるため、省略されないことが予測される。

予測どおり、4)「推測可能性が低く、重要性が高い応答」は、省略されている例が見つからなかった。以下、例が見つかった3つのカテゴリーの応答について考察を行う。

#### 1)推測可能性が高く、重要性が低い応答

このカテゴリーの応答の例は、「推測可能性が高く、重要性が高い応答」と並んで数が多いが、その機能は比較的限られている。機能別に分類すると、多い順に、a)前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答、b)前の話者の質問への肯定の返答、c)前の話者の依頼・指示・誘いなどへの応諾の返答、d)前の話者に聞き返す応答、e)前の話者の陳述への同意をあらわす応答、f)前の話者の呼びかけに対する返答、となる。応答が生じている会話のほとんどは、映画の背景的な場面(主要な登場人物の普段の生活や、主要な場面に付随する場面など)

での会話である。以下、例が比較的多く見られた a)～d) について、特徴を見るとともに、典型的な例を挙げる。

a) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答

この種類では、応答の意味が、応答者の頷く(首を縦に振る)身振りから推測できる場合が大半である。この身振りは、日本でも英語圏でも「肯定」や「承知」をあらわすものである(小林 1975:130)。ごく少数、応答に身振りが伴わず、場面と応答者の口調から推測される場合もある。(4) は応答者の頷く身振りから応答の内容が推測できる例である。会社の飲み会から帰宅した主人公の杉山と妻の昌子の会話である。昌子 2 の応答は、昌子 1 の質問に対する杉山の返答の了解をあらわしている。昌子の頷く身振りから昌子が了解したことが推測できる。この会話は、主人公の杉山がダンス教室に通い始める前の、杉山と妻の日常を描いている。昌子 2 の応答は、一般に夫婦間の会話で普通に見られるものであり、この後、会話も続いていないので、映画のストーリーの展開や昌子の人物描写に顕著な貢献をするとは見なされない。

(4) 昌子 1: お茶漬けでも食べる?

Something to eat? (05:12)

杉山: いや疲れた 風呂入って寝るよ

No thanks. I'm tired. I'll take a bath and go to bed.

昌子 2: うん (05:15) (頷きながら。はっきり聞こえる)

φ

(杉山は 2 階に上がって行き、場面が転換する) (『Shall we ダンス?』)

b) 前の話者の質問への肯定の返答

前の話者の質問に対する肯定の返答では、応答者の頷く身振りから肯定が推測できる場合が大半であるが、身振りからの推測が難しく、場面や前後の発話によって推測可能である場合も見られる。(5) は後者の例である。ダンス教室に通うことにした杉山がダンス用品店でダンス用シューズを見ている際に店員から「シューズを探しているのか」と問われている。この場面では肯定の返答が予測される。さらに、杉山の応答は身振りを伴わないが、杉山の応答に続く店員 2 の質問は店員 1 の質問に対する肯定の返答を受けて成り立つ質問であるので、この店員 2 の質問からも、杉山の応答が肯定の返答であることが理解できる。

(5) 店員 1: シューズをお探しですか?

Looking for shoes?

杉山: ああ ええ (15:52) (身振りなし。表情は映らず)

φ

店員 2: モダン用ですか?

For modern dancing?

(『Shall we ダンス?』)

c) 前の話者の依頼・指示・誘いなどへの応諾の返答

応諾の返答の例では、応答者の頷く身振り、先行する依頼・指示・誘いなどの発話とそれに応じる応答者の行動から、応諾していることが推測できる。(6) は応答者の身振りと、誘いに応じる行動の両方から応諾が推測可能となっている例である。子供同士の会話で、淳之介が、いっしょに隣の部屋でおやつを食べようと美加を誘っている。美加の応答が応諾の返答であることは、美加の頷く身振りからも、また淳之介といっしょに隣の部屋に移動する行動からも推測できる。淳之介の優しさや子供たちの仲の良さは既にわかっており、また、この場面はここで終わっている。よって淳之介の誘いも美加の応諾も、話の主要な展開や登場人物の人物描写に貢献しないので、美加の応答は重要性が低いと判断できる。

(6) 淳之介:美加ちゃんも いっしょに行こう

You too, Mika

美加: うん (01:13:30) (頷きながら)

φ

(二人とも、隣の部屋に行く)

(『続・三丁目の夕日』)

d) 前の話者に聞き返す応答

前の話者に聞き返す応答の例は数多く見られたが、いずれの場合も、質問において特徴的にみられる上昇調であることと、後続の話者の発話の内容が、前の話者の発話の内容についての説明であることから、応答者が聞き返していることが理解できる。(7) では、青木 1 が唐突に「また失敗した」と言うので、杉山は何の話なのか(何に失敗したのか)がわからず聞き返し、それを受けて、青木 2 は説明を始めている。杉山が聞き返しているということは、杉山の口調と表情、身振りおよび青木 2 の説明からわかる。

(7) 青木 1: でも、また失敗しちゃったな

But I blew it again. (33:07)

杉山: え? (33:07) (上昇調で、不思議そうな表情で、身を乗り出して)

φ

青木 2: 競技会に出ているんです 社会人のアマチュア大会なんですけどね

I take part in amateur dance competitions.

(『Shall we ダンス?』)

2) 推測可能性が高く、重要性が高い応答

このカテゴリーの応答の例は、数が多く、機能も多岐にわたっており、a) 前の話者に聞き返す応答、b) 前の話者の依頼・指示などのへの応諾の返答、c) 前の話者の発話への同意をあらわす応答、d) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答、e) 謝罪や不満、からかい、感心などの態度や心情をあらわす応答が含まれていた。例の数が比較的多かったのは a) のみであり、その他はいずれもごく少数であった。このカテゴリーの応答に共通するのは、応答者

(いずれも主要な登場人物)の心情が、応答者の口調や表情、身振りから理解でき、そこから応答者の性格・心理状態・思考や応答者との登場人物との関係が明らかになっているということである。そこに応答の重要性が見出される。以下、代表的な例をいくつか挙げる。

(8) は a) 前の話者に聞き返す応答を含む例である。夫が浮気をしているのではないかと疑い始めている昌子が、娘からも、夫がやはり変だと言われて、驚き、不安を募らせていることが、昌子の口調や表情からわかる。この映画では、杉山のダンスへの熱中とダンス教師の舞や他のダンス仲間との関係の深まりと、妻の昌子が感じる不安、夫への懷疑、疎外感が対比されて描かれている。(8) の昌子の応答は、このような昌子の不安感をあらわしているため、重要性が高いと言える。

(8) 千景(娘): お父さん やっぱり変

He is acting weird. (37:34)

昌子(母): え? (37:38) (驚いたような不安そうな口調と表情で)

φ

(場面が変わる)

(『Shall we ダンス?』)

(9) は c) 前の話者の発話への同意をあらわす応答を含む例である。貧しい茶川から淳之介を引き離そうとしている川淵(淳之介の実父)に自分の窮状をつきつけられた茶川が、しかたなく同意している。茶川が不利な状況にあつて、川淵に完全に圧倒され、反論できないことが、茶川の頷く身振りや情けない声からわかる。茶川が淳之介と暮らし続けられるかどうかはこの映画の重要なテーマであるので、川淵に圧倒され、自分の窮状を認める茶川の応答は重要性が高い。

(9) 川淵: 聞いたよ 茶川君 // 君の懐を案じて 10 歳の子供が給食を我慢する // 情けなくはないか // 私が忠告した言葉の意味 身に沁みただろ // これが現実だ

I heard, Chagawa. // A 10-year-old goes without lunch, worried about your money. // Isn't that pathetic? // I hope my warning is finally sinking in. // Welcome to reality.

茶川: ええ (54:53) (うなだれ、力ない声で、頷いて)

φ

(『続・三丁目の夕日』)

### 3) 推測可能性が低く、重要性が低い応答

このカテゴリで見つかった例は 1 例のみであり、それは前の話者の発話の理解をあらわす応答であった。(10) の美加 2 の応答は、目立つ口調や表情、身振りを伴わず、応答の内容を確定的に推測するのが難しいと判断した。しかし、質問(美加 1) - 質問への返答(一平 2)に続く応答としては、返答の理解をあらわす応答がもっとも自然に予測されるので、「推測可能性が高い」と考えることもできる。なお、美加 2 の直前に一平が言っている、父親が野良犬にかまれたということは、雄一郎が提案した一平の家で犬を飼うことが不可能である理由に

結びついているという点以外には映画のストーリーに関係がなく、美加 2 の応答は、単に一平の説明の理解をあらわしているだけである。したがって、美加 2 の応答は、ストーリーの展開にも、人物描写にも貢献せず、重要性が低いと判断される。

(10) 雄一郎: そうだ 一平の家で飼ってもらえばいいじゃないか

You could keep it at Ippei's house.

一平 1: ダメダメ うちのお父ちゃん 犬 大っ嫌いだもん

No way. My dad hates dogs.

美加 1: なんで?

Why?

一平 2: 子供の頃 野良犬にかまれたんだって

Dad got bit by a stray when he was a kid.

美加 2: ふーん・・・ (38:59) (ごく僅かに頷き、抱いている犬を見る)

φ

(『続・三丁目の夕日』)

## 2.2 字幕において訳出されている短い応答の特徴

本節では、訳出されている応答について、2.1 節と同様に、推測可能性と重要性の度合いという二つの視点から考察を行う。以下、2.1 節で分類した 4 つのカテゴリ別に考察を行う。

### 1) 推測可能性が高く、重要性が低い応答

このカテゴリの応答はごく少数であり、機能別に見ると、a) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答と、b) 前の話者の初対面の挨拶や感謝の挨拶への応答であった。a) は主要な展開に付随する会話に見られ、b) は定型的、形式的な挨拶であって、どちらも、映画のストーリーの主要な展開には貢献せず、登場人物の人物描写に貢献もしていない。見つかった応答は、「あ そうですか」、「あ ああ どうも」、「えあ・・・ こりやどうも」のように、複数の単語(間投詞を含む)から成り立ち、音声的にある程度の長さがあるものである。音声の持続時間が長いと、次の字幕に移行するまでに時間的余裕があるので、省略されず、訳出されているのかもしれない。

(11) は a) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答を含む例である。杉山 1 がダンス教室の申込書に連絡先を書かなくてはならないのかと訊ねたのに対し、舞が名前だけでも構わないと説明している。杉山 2 の応答が舞の説明の了解をあらわす応答であるということは、杉山 2 の頷く身振りから推測可能である。ダンス教室の申込書の記入項目という、映画のストーリーに直接は関係がない事柄に関する了解をあらわす杉山 2 の応答は、ストーリーの展開や人物描写に貢献するとは考えられず、重要性は低いと判断される。

(11) 杉山 1: 連絡先ですか?

Phone number?

舞: 差し支えがあるようでしたら お名前だけでも構いませんけど



If it's a problem, just a name will do.

杉山 2: あ そうですか (15:04) (頷いて)

Right...

(この後、舞の説明が続く)

(『Shall we ダンス?』)

## 2) 推測可能性が高く、重要性が高い応答

このカテゴリーの応答は、例が比較的多いが、その機能は限られており、見つかったのは、多い順に、a) 前の話者に聞き返す応答、b) 前の話者の質問への肯定の返答、c) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答、d) 前の話者の発話への同意をあらわす応答、e) 前の話者の指示への応諾の返答、f) 怒りの感情を表出する応答である。例の数が際だって多いものではなく、例の数に大きな差はない。いずれも、映画の主な話の展開やテーマ、主要な登場人物の心情に深くかかわる応答である。応答の主な内容や機能は、a) では、応答が上昇調であることや応答者の表情・身振りから推測可能であり、b) ~ e) では、主に応答者の頷く身振りから推測可能であり、f) では、応答者の口調と行動から推測可能である。

このカテゴリーで省略されていた応答は、表現自体は具体的な意味をほとんど持たず、その代わりに、応答者の口調や表情、身振りに応答者の心情があらわされており、そこに重要性が見出されるものである(2.1 節参照)。しかし、訳出されていた応答では、応答者の口調や表情、身振りというより、応答の表現自体の意味や機能が話の展開や登場人物の人物描写に貢献している場合が多く見られる。以下、例の数が比較的多かった a)、b) の例を挙げる。

(12) は a) 前の話者に聞き返す応答を含む例である。杉山は、ダンス教室の仲間の豊子の娘に「もしかして杉山さんでしょ」と言われ、初対面にもかかわらず何故自分のことを知っているのかと驚き、まず「ええ」と言って肯定するとともに、「あの・・・」と聞き返している。杉山の不思議そうな表情と動作から、聞き返していることが推測できる。杉山に聞き返されたので、豊子の娘 2 は、豊子が杉山のことを家でどのように話していたかを説明する。その説明から、豊子が、夫を亡くしていることや、杉山のことを好ましく思っていることが、杉山たちにも視聴者にも初めてわかる。こうして豊子の杉山に対する気持ちがわかったことにより、この後、杉山と豊子はパートナーを組んで大会に出場することになる。杉山の応答は、このような展開に結びつく重要な情報を引き出すことにつながっているという点で、重要性が高いと判断される。

(12) 豊子の娘 1: ご迷惑おかけしました あ もしかして杉山さんでしょ

Sorry for all this trouble. // You must be Mr. Sugiyama.

杉山: ええ あの・・・ (01:10:28) (不思議そうな表情で身を乗り出して)

Yes?

豊子の娘 2: 母からいつも教室のこと 聞かされてるんです ちょいと渋めのいい男で 死んだ 父さんに似てなくもないんだけど 奥さんも子供さんもいるのよねって 残念そうに言っていましたから

She tells me everything. // Said you were elegant... a little like my father. // She seemed sad to hear you had a family.

(『Shall we ダンス?』)

(13) も a) 前の話者に聞き返す応答を含む例である。杉山の妻と娘が、杉山が最近、帰りが遅くなるとともに、「ウキウキ」しているように見えることについて話をしている。娘の千景は、杉山が元気になったのは喜ぶべきことではないかと昌子に言うが、昌子は、夫が以前よりも元気になったことを何故か素直に喜べない。そこで、娘の「少し前まで元気がないことを心配していたではないか」という指摘に対し、昌子 2 はそうだったかと聞き返す応答をしている。聞き返しているということは、応答が上昇調であることから推測可能である。応答の表現および昌子の口調や表情から、以前は元気がないと心配していたことが今の自分には素直に信じ難いという昌子の心情がよくわかる。

(13) 千景 1: よかったね 元気が出て

That's good news.

昌子 1: え?

φ

千景 2: もう だってこないだまで 元気がないって心配してたじゃない

You were worrying that he is depressed.

昌子 2: そうだっけ (28:57) (上昇調で。不満げな口調と表情で)

Was I?

千景 3: そうです

Yes, you were.

(『Shall we ダンス?』)

(14) は b) 前の話者の質問に対する肯定の返答を含む例である。中隊の戦友会に初めて出かけた則文が、会場の入り口で、同郷で特に仲が良かったものの生死が不明だった牛島に声を掛けられた場面である。則文は中隊の仲間たちがどれだけ生き残っているのかを知るのが怖いのために、戦友会に出席することをずっと避けてきて、今回も直前まで参加を迷っていた。則文 1 は、牛島と思われる人物に声を掛けられたので、驚いて本当に牛島なのかを確かめている。牛島 2 の肯定の返答から、牛島が生きていたことが明らかとなる。これは則文が戦後ずっと願っていたことであり、この後のストーリーの展開からも、牛島との再会は、則文にとって、戦後の区切りをつける重要な意味を持つことがわかる。したがって、この返答は重要性が高いと言える。なお、牛島 2 が肯定の返答をしていることは、牛島の頷く身振りから推測可能である。

(14) 牛島 1: 鈴木さん

Suzuki san.

則文 1: 牛島?

Ushijima?

牛島 2: はい (40:06) (嬉しそうに、頷いて)

Yes.

則文 2: 牛島かあ 何だお前 生きてたのか もう 俺はてっきり お前・・・

Ushijima! Man, you're alive. // I'd feared the...

(『続・三丁目の夕日』)

### 3) 推測可能性が低く、重要性が低い応答

このカテゴリーの応答も、例の数が比較的多いが、機能は限られており、見つかったのは、多い順に、a) 前の話者に聞き返す応答、b) 前の話者の依頼・指示・誘いなどへの応諾の返答、c) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答、d) 前の話者の質問に対する肯定の返答、e) 前の話者の申し出への応諾の返答である。a) と b) の数が多く、その他はごく少数である。ほとんどの例は、登場人物の日常生活を描写する会話や、主要な展開の背景となる会話にあらわれている。以下、例の数が多かった a) と b) について、特徴を見るとともに、典型的な例を挙げる。

#### a) 前の話者に聞き返す応答

このカテゴリーの聞き返しの応答は、ほぼすべて質問内容が具体的であり、聞き返しているということは応答者の口調や身振りから推測可能であるが、具体的に何について聞き返しているのかまでは推測できないため、推測可能性が低くなっている。(15) では、会社の同僚でダンス教室の仲間でもある青木が、今の自分のパートナーについて杉山に説明している。杉山は、青木 1 の説明の中に出てきた「ダンスツアー」とはどのようなものかがわからず「ツアー？」と聞き返している。この応答は、単にわからなかったことについて聞き返しているだけであり、しかも「ツアー」がどのようなものであるかは、話の展開に関係がないので、重要性は低いと判断される。聞き返しているということは応答の上昇調から推測可能であるが、何について聞き返しているのかまではわからないので、推測可能性は低い。

(15) 青木 1: さっきの彼女 こないだ行ったイギリスのダンスツアーで知り合ったんだけどね

I met that last one on a dance tour to England.

杉山: ツアー? (33:32) (目立つ身振りや表情はなし)

Dance tour?

青木 2: そう ダンス大会見るのが主んだけど

Yes, to watch the competitions.

(『Shall we ダンス?』)

#### b) 前の話者の依頼・指示・誘いなどへの応諾の返答

このカテゴリーで多く見られた例は、日常生活の中での日常的な依頼や指示への応答である。(16) では、友だちに誘われてセミ捕りに出かける一平が家を出る際に、母親のトモエから晩ご飯までには帰って来るようにと言われ、了解の返事をしている。セミ捕りに出かけた先で、子犬といっしょにいる美加を見つけ、話が展開していくのであるが、この場面は、そこに至るまでの背景になっている。遊びに出かけたら夕飯までには帰って来るようにと言われて、それに

応じるのは、当時の親子間でよく見られたやりとりであり、話の展開や人物描写に特別の貢献はしない。したがって、一平の応答は重要性が高くはない。一平の応答の内容はある程度予期されるものとはいえ、一平の姿は映っておらず、声のみなので、推測可能性が低いと判断される。

(16) 一平 1: セミ捕り行ってきまーす

I'm going to catch cicadas!

トモエ: 晩ご飯までには帰ってきなさいよ

Come home in time for supper.

一平 2: はい (36:35) (一平の姿は映っていない。声のみ)

OK

(『続・三丁目の夕日』)

#### 4) 推測可能性が低く、重要性が高い応答

このカテゴリーの応答は、例の数が比較的多く、その機能も多岐にわたっており、他のカテゴリーではほとんど見られなかった種類の応答も見られる。見つかった応答には、a) 前の話者に聞き返す応答、b) 前の話者の提案に対する拒絶や迷いをあらわす応答、c) 前の話者の質問に対する肯定の応答、d) 前の話者の質問に対する否定や迷いをあらわす応答、e) 前の話者の陳述の理解をあらわす応答、f) 前の話者の依頼への応諾の返答、g) 前の話者の陳述の内容への不満をあらわす応答、h) 前の話者への謝罪の応答が含まれている。このうち、b)、d) はこのカテゴリーに特徴的に見られる応答であり、省略された応答には見られないものである。いずれの応答も、映画のテーマや主要な展開にかかわる会話の中にあらわれており、主要な登場人物の心情や態度があらわされている。応答は顕著な表情や身振りを伴わず、応答の内容を表情や身振りから読み取ることが難しい。以下に、典型的な例を挙げる。

(17) では、中隊の戦友会に出かける直前になっても参加を迷っている則文に、妻のトモエが参加を勧めている。則文 1 の応答は、トモエ 1 の質問に対する肯定と迷いをあらわし、上記 c) と d) にあたる。則文 3 の応答は、トモエ 3 の提案と質問に対するためらい・迷いをあらわしており、上記 b) と c) にあたる。則文は中隊の仲間がどのくらい生き残っているか、特に、親しかった牛島が生きているのかどうかを知るのが怖いために、これまでずっと戦友会に参加してこなかった。また、自分が生き残り、幸せな暮らしをしていることについて、亡くなった戦友に対して後ろめたさを感じてきた。則文が戦後の区切りをどのようにつけるかということは、この映画の主要なテーマの一つである。則文 2 と 則文 3 の応答はいずれも、則文が戦後ずっと抱えてきた複雑な心情を反映しているという点で重要な応答である。これらの応答は特別な身振りや表情を伴わず、推測可能性が低い。

(17) トモエ 1: まだ悩んでるんですか？ あなたらしくもない 行くなって返事出したんでしょ？

You still cannot make up your mind? It's hardly like you. // You already said you'd attend.

則文 1: んー そうなんだが・・・

I know but... (36:47)

トモエ 2:何がそんなに 気になるんです？

What are you so worried about?

則文 2:怖いんだよ うちの中隊の仲間がどれほど生き残ってんのか 艦砲射撃を食らって 散り散りになっちゃったからなあ

I'm scared. // To find out how many men from my troop survived. // They got mowed down by those American guns.

トモエ 3:確かめてきたら いいじゃないですか ずっと気になってるんでしょ

Why don't you go find out? // You've always wondered.

則文 3:んー (37:11) (特別な表情、身振りはない)

Yeah...

トモエ 4:何か分かるかもしれないじゃない 何も情報がないより どれだけいいか

Maybe you'll find out something. // It's better than not knowing.

(『続・三丁目の夕日』)

(18) は c) 質問に対する肯定の応答を含む例である。茶川が芥川賞を受賞すると信じて皆が祝賀会を始めようとしているところにあらわれた川淵と茶川との会話である。淳之介を手放したくなければ淳之介を養っていく力があることを証明しろと以前に茶川に迫っていた川淵に対し、茶川は、芥川賞を受賞したら淳之介を養う力があると認めてもらえるかと訊ねている。川淵の「もちろん」という強い肯定をあらわす応答は、それを認めると明言する重要な応答である。川淵のこの応答によって、茶川が芥川賞を受賞するかどうかは、より重要な意味を持つことになり、その点でもこの応答は、この後、芥川賞落選がわかるストーリーの展開にとって重要である。川淵はごく軽く頷いているだけなので、推測可能性は低い。

(18) 茶川:ですから もし今日 芥川賞をとったら 僕が養っていけると認めてくれますね

So, if I do win the Akutagawa Prize today, you'll accept that I raise Junnosuke?

川淵:もちろんだ (01:45-08) (ごく軽く頷いて)

Of course.

(『続・三丁目の夕日』)

### 2.3 まとめ

2.1 節と 2.2 節で見た結果をまとめると、省略されている応答は、ごく少数の例外を除いて、すべて推測可能性が高いものである。このうち、重要性が低い応答と重要性が高い応答の例がほぼ半々である。つまり、重要性が高いものであっても、推測可能性が高いものは省略され得る(ただし、この場合、応答者の口調や表情、身振りに、応答者の心情がよくあらわされているという特徴が見られる)。「推測可能性が低く、重要性が高い応答」が省略されている例は見つからない。一方、訳出されている応答は、推測可能性と重要性の 4 種類の組み合わせの例がすべて見られる。ただし、「推測可能性が高く、重要性が低い応答」の例は少数で、しかも表現が比較的長いものに限られている。残りの 3 種類については、例はほぼ同数である。この結

果を表にまとめると表 1 のようになる。

表 1 日本語映画の短い応答の種類と英語字幕における省略・訳出

応答の種類(カテゴリー)	省略	訳出
1) 「推測可能性が高く、重要性が低い応答」	○	△ <sup>3</sup>
2) 「推測可能性が高く、重要性が高い応答」	○ <sup>1</sup>	○
3) 「推測可能性が低く、重要性が低い応答」	△/× <sup>2</sup>	○
4) 「推測困難性が低く、重要性が高い応答」	×	○

○ 例が多数      △ 例が少数      × 例なし

注 1 いずれの例においても、応答者の心情が、応答者の口調、表情、身振りに顕著にあらわされている。

注 2 例がごく少数であり、しかも、1) 「推測可能性が高く、重要性が低い応答」と分類することも不可能ではない。

注 3 いずれの例も表現が比較的長い。

表 1 をもとに、カテゴリー別に省略・訳出を考察すると、次のような傾向があることがわかる。「推測可能性が高く、重要性が低い応答」は、表現が比較的長いものを除いて、基本的に省略される。「推測可能性が高く、重要性が高い応答」は、省略される場合と訳出される場合がある。省略されるのは、応答の表現自体よりも応答者の口調や表情、身振りに応答者の心情がはっきりとあらわされている場合である。一方、訳出されるのは、応答者の口調や表情、身振りとともに、応答の表現の内容も話の展開や応答者の心情をあらわすのに貢献している場合である。「推測可能性が低い応答」は、「重要性の高さ」の度合いにかかわらず、基本的に省略されず、訳出される。

### 3. 英語映画の日本語字幕において省略・訳出される短い応答

英語映画の会話に見られる短い応答も、日本語字幕において省略される場合と訳出される場合とがあり、両者はほぼ半々であった。本節では、英語映画の日本語字幕において省略・訳出される応答がどのようなものかを考察する。

#### 3.1 字幕において省略されている短い応答の特徴

本節では、省略されている応答について、重要性和推測可能性という二つの視点から考察を行う。2.1 節で分類した 4 つのカテゴリーのうち、「推測可能性が低く、重要性が高い応答」は、英語映画の日本語字幕においても、予測どおり、省略されている例が見つからなかった。以下、例が見つかった 3 つのカテゴリーについて考察する。

## 1) 推測可能性が高く、重要性が低い応答

このカテゴリーの応答は、例が多く、省略されている応答のうち約 8 割がこのカテゴリーであった。しかし、その機能は限られており、機能別に見ると、多い順に、a) 前の話者に聞き返す応答、b) 前の話者の依頼・指示・誘い・申し出などへの応諾の返答、c) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答、d) 前の話者の質問への肯定の返答、e) 呼びかけに対する返事、f) 挨拶の応答であった。これらは、日本語映画の英語字幕で省略されている同じカテゴリーの応答の機能とほぼ同じである。応答が生じている会話はいずれも、登場人物の日常生活を描き出す会話や、主たる展開への背景となる場面の会話、話者同士の情報のやりとりの上での理解の確認などであった。以下、例が比較的多く見つかった a)～e) について、特徴を見るとともに、典型的な例を挙げる。

## a) 前の話者に聞き返す応答

応答者が聞き返しているということは、応答が上昇調であることや、応答者の身振り、前後の話者の発話の内容などから推測可能である。応答者が具体的なことを質問している場合の質問の内容は、後続の話者の発話の内容から推測可能である。(19) では、自分の理論を Nash に説明し始めた Kelly が、急に Nash から食事をしたのはいつかと訊ねられたので戸惑い、聞き返している。Kelly が聞き返しているということは、Kelly の応答の口調が上昇調であることや、続く Nash 2 が Nash 1 について説明していることから推測できる。Kelly と同じ状況に置かれれば、誰もが驚いて聞き返すと思われ、また、それに対する Nash 2 の応答も Nash 1 の質問の内容の説明をしているだけなので、Kelly の応答の重要性は低いと判断される。

## (19) Nash 1: When was the last time you ate?

何か食ったか？

Toby Kelly: Excuse me? (01:57:20) (上昇調で。表情は映っていない)

φ

Nash 2: You know, food.

食事だよ

(*A Beautiful Mind*)

## b) 前の話者の依頼・指示・誘い・申し出などへの応諾の返答

この種類の例では、応答者の頷くなどの身振りや、依頼や指示に応じる行動のいずれかあるいは双方から応諾していることが推測可能である。(20) は、俳優の代役の Judy と John が、映画の本撮影の前に、カメラの前でいろいろなポーズをとっている場面での会話である。Judy と John はポーズをとる前に話しこんでしまい (John は Judy が緊張しないように、あえて仕事とは関係のない世間話を Judy にしているように見受けられる)、映画の監督助手の Tony に急かされている。Tony の依頼に対して Judy が応諾の返答をしていることは、彼女が Tony に対して手を挙げる身振りをし、さらに依頼された行動を開始していることから推測可能である。John と Judy が親しくなっていくことは映画のテーマの一つであるが、Tony の急いでくれとい

う依頼の応諾は、映画の話の展開には直接関係しない。よって、この Judy の応答は、重要性が低いと見なされる。

(20) Tony: Sorry, guys, time's pretty tight and we have to get the actors in as soon as possible.

悪いね 本番まで時間がないんだ

Judy: Fine. (14:26) (手を挙げて「わかった」という意思表示をし、依頼された行動を始めながら)

φ

John: I promise I won't look.

見ないよ

(*Love Actually*)

c) 前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答

この種類は、ほとんどが、(21) のように、応答者の口調や身振り、前後の発話から応答の意味が推測できるものであった。(21) では、応答者の Natalie のとても軽い口調から、Natalie 2 の応答が PM 2 の発話を理解したことをあらわしている(それ以上の意味はこめられていない)ことが推測できる。首相の妹が Natalie と同じ通りに住んでいることはストーリーの展開に目立つ貢献をする事柄ではなく、その情報の理解をあらわす応答は重要性が高いとは言えない。

(21) PM 1: Where do you live, for instance?

君の家が どこかも知らない

Natalie 1: Wandsworth. The dodgy end.

ダサイワンズワースです

PM 2: Ah, my sister lives in Wandsworth.

妹も あそこに住んでる

Natalie 2: Oh. (31:35) (「あら そうですか」という軽い感じの声。Natalie の表情は映っていない)

φ

PM 3: So which exactly is the dodgy end?

ダサイって どの辺り?

(*Love Actually*)

d) 前の話者の質問への肯定の返答

この種類の例では、応答者の頷く身振りから応答の意味(肯定の返答)が推測できる場合と、前の話者の質問の内容から肯定の返答が予測できる場合とがあった。(22) は前者の例である。(22) では、降誕劇でエビの役をすることになったと言う娘 Little Daisy に、降誕劇にエビは登場しないはずだと思った母親 Karen が聞き返している。応答者(Little Daisy)の頷く身振りから、肯定の返答であることが推測可能である。Karen の質問は、Little Daisy の発言の一部を繰り返して確認をしているものなので、Little Daisy の返答が肯定となることを視聴者は予測



できる。したがって、この応答は重要性が高いとは言えない。

(22) Little Daisy: We've been given our parts in the Nativity play, and I'm the lobster.

降誕劇に出るの！// エビの役よ

Karen: The lobster?

エビ？

Little Daisy: Yeah. (05:40) (何回か頷きながら)

φ

(この後、Karen がさらに確認の質問をする)

(*Love Actually*)

e) 呼びかけに対する返答

この種類の例では、応答者が呼びかけに対して返事をしているということが、前後の話者の発話の内容や、呼びかけられて振り向くなどの応答者の行動から推測できる場合と、単に場面から予測される場合とがあった。(23) は前者の例である。ペンタゴンの将軍が、仕事を終えた Nash を案内するように大尉に指示をするにあたって、まず大尉に呼びかけ、それに対して大尉が返事をしている。この会話はストーリーの展開に関係がなく、中でも、指示に先立つ呼びかけに対する返事は予期できるものであるため、重要性が低い。

(23) General 1: Captain.

大尉

Captain Rogers: Yes, sir. (27:42)

φ

General 2: Accompany Dr. Nash.

ご案内を

(*A Beautiful Mind*)

2) 推測可能性が高く、重要性が高い応答

このカテゴリーの応答の例は少数であり、その機能は、a) 前の話者の陳述に対する同意をあらわす応答、b) 前の話者の質問に対する肯定の返答、c) 前の話者の陳述に対する当惑・反対をあらわす応答、d) 前の話者の命令の拒絶、e) 前の話者の質問への返答の躊躇をあらわす応答であった。見つかった例はいずれも、日本語映画の場合と同様に、応答者の口調や表情・身振りから、応答者の心情や応答者と主要登場人物との関係が読み取れるものであった。以下、a)～c)の例を挙げる。

(24) は a) 前の話者の陳述に対する同意をあらわす応答を含む例である。長年のマネージャーの Joe が自分にとっていかに大切に気づいて、Elton John に招待されたクリスマス・パーティーを抜け出し Joe とともにクリスマスを過ごすことにした Billy が、驚いている Joe 1 に対し、自分でもそうだと同意している。Billy の少し照れくさく、意外に思う心情が、Billy の口調と表情からわかる(ただし、Joe 2 の発話は、Joe がまだ Billy の気持ちを理解していないことを示している)。クリスマスの季節に見られるさまざまな愛 (love) のあり方がこの映画のテーマで

あるので、自分でも意外だった Joe に対する気持ちを照れながら認める Billy の応答は、重要性が高いと判断できる。

(24) Joe 1: Well, this is a surprise.

いや 驚いたな

Billy: Yeah. (01:40:02) (少し照れた表情で)

φ

Joe 2: Ten minutes at Elton John's and you're as gay as a maypole.

エルトンと 10 分でゲイに？ (Love Actually)

(25) は b) 前の話者の質問に対する肯定の返答を含む例である。Nash 1 は自分に話しかけてきた人物 Thomas King が自分の病気による幻覚ではないことを確かめるために、そばにいた学生に、King の姿が見えるかと尋ねている。学生は、Nash がなぜこのような質問をしているのかが理解できず、不思議そうな顔をして(しかし馬鹿にする様子は全くなく)、頷いたり、笑ったりしながら、下降上昇調で“Yeah”と答えている。学生が肯定の返答をしていることは、学生の頷く身振りや、続く Nash 2 の発話から推測可能である。さらに、学生の表情や身振りから、この学生が Nash がおかしい質問をしたにもかかわらず、彼に不信感を抱いたりせず、親しみを感じていることがわかる。この会話および学生の応答は、Nash がようやく病気とうまくつきあえるようになり、学生からも親しまれ、信頼されるようになっていくという点で重要性が高いと考えることができる。Nash に話しかけた Thomas King は Nash がノーベル賞の受賞者として適切な行動をとることができるかを確かめに来たのであるが、この会話は King を安心させるものであったはずである。

(25) Thomas King: Professor Nash?

ナッシュ教授？

Nash 1 [to a student]: Can you see him?

彼が見える？

Student: Yeah. (02:00:23) (少し驚いた表情で、頷き、笑い、また頷いて)

φ

Nash 2: You sure? Positive? He's within your vision?

本当に？ 君の目にも見える？

(学生は引き続き、笑って頷いている) (A Beautiful Mind)

(26) は c) 前の話者の陳述に対する当惑・反対をあらわす応答を含む例である。「お高くとまった」英国女性にはもてないが米国女性にはもてるはずと考えた Colin が本当に米国行きを決心したので、友人の Tony が呆れて、強く反対している。Tony 1 と Tony 2 の応答が、Colin の計画に呆れ、反対しているものであるということは、Tony の強い口調、呆れた表情、首を横に振る身振りから容易に推測できる。Tony の強い反対にもかかわらず Colin はアメリ

カに行ってしまう、意外にもアメリカの若い女性にもててしまう。Tony の常識的な考えと Colin の非常識な行動と意外な結末の対比はこの映画の主要なテーマの一つであるので、この Tony 1 と Tony 2 の応答は重要性が高いと判断される。

(26) Colin 1: Exciting news!

聞いて驚くな

Tony 1: What?

φ

Colin 2: I've bought a ticket to the States—I'm off in 3 weeks.

航空券を買った 3週間後にアメリカに発つ

Tony 2: No! (25:00) (首を横に振り、あきれた表情で)

φ

Colin 3: Yes! To a fantastic place called...Wisconsin.

それも行き先がすごい ウィスコンシンだ

Tony 3: No! (25:06) (首を横に振り、あきれた表情で)

φ

Colin 4: Yes! Wisconsin babes—here comes Sir Colin!

ウィスコンシンの女たち！ 覚悟しとけよ！ (Love Actually)

### 3) 推測可能性が低く、重要性が低い応答

このカテゴリーの応答の例は少なく、見つかった例はいずれも前の話者の発話の理解や了解をあらわす応答であった。顕著な身振りを伴わないので「推測可能性が低い」としたが、口調や場面、前後の文脈からある程度推測することが可能である。以下に、例の一つを挙げる。

(27) は Colin と初対面の Nancy のパーティー会場での会話である。Colin が Nancy にパーティーの料理のまずさを嘆いた後で、互いに自己紹介をし、この会話が始まっている。Nancy 4 の発話から彼女がその料理を作ったことがわかり、Colin 5 は決まり悪そうに笑ってから了解の意をあらわす返答をしている。この Nancy とのやりとりから Colin は自分にガールフレンドができないのは英国の女性がお高くとまっているからだ結論づけて米国行きを決心するのであるが、Colin 5 の応答自体は単に気まずい了解をあらわすもので、話の展開や Colin の人物描写に目立つ貢献はしない。よって重要性は低い。決まり悪そうな笑いから Colin の心情は理解できるが、頷く身振りを伴わないので、応答が了解をあらわすことは(ある程度は予測できても)必ずしも推測できない(たとえば、謝ることも考えられる)。

(27) Colin 1: And what do you do, Nancy?

よろしく お仕事は何を？

Nancy 1: I'm a cook.

コックよ

Colin 2: Ever do weddings?

パーティー料理も？

Nancy 2: Yes, I do.

φ

Colin 3: They should have asked you to do this one

今日も？

Nancy 3: They did.

頼まれたわ

Colin 4: God—I wish you hadn't turned it down.

断ったんですね？

Nancy 4: I didn't.

私の料理よ

Colin 5: Right. (13:15) (決まり悪そうに笑ってから)

φ

(場面が変わる)

(*Love Actually*)

### 3.2 字幕において訳出されている短い応答の特徴

本節では、字幕において訳出されている応答がどのようなものか、推測可能性と重要性という二つの視点から考察する。以下、4つのカテゴリー別に考察を行う。

#### 1) 推測可能性が高く、重要性が低い応答

このカテゴリーの応答の例は少数であった。見つかった例は、a) 前の話者の質問に対する否定の応答、b) 前の話者の陳述に対する疑いをあらかずく応答、c) 前の話者の質問に対して聞き返す応答であった。いずれも百貨店の店員とのプレゼントの包装についての話や娘の学芸会の登場人物(動物)の話など、ストーリーの主要な展開には直接関係がない会話にあらわれていた。応答の内容は、応答者の口調や表情、首を横に振ったり頷いたりする身振りから推測可能であった。以下、複数の例があった a) の例を挙げる。

(28) は、Natalie のことが好きだと気づいた首相が、番地がわからない Natalie の家を探して、長い通りの家々を一軒ずつ訪ねた、そのうちの二軒での会話である。Natalie を見つけるという主要なできごとに至るまでの背景となる会話である。Natalie がいるかという質問に対する否定の返答は、首相がまた次の家を訪ねなくてはならないということの意味する以外にはストーリーの展開に貢献せず、重要性は低い。応答の内容は、応答者の首を横に振る身振りから推測可能である。

(28) PM: Hello. Does Natalie live here?

お宅にナタリーが？

Old lady: No. (01:43:15) (首を横に振って)

いいえ

PM: Right, fine. Thank you. Sorry to disturb.

お邪魔しました

(Love Actually)

## 2) 推測可能性が高く、重要性が高い応答

このカテゴリーの応答の例も、数と機能がともに限られており、見つかった例の機能は多い順に、a) 前の話者に聞き返す応答、b) 前の話者の提案に同意や強い賛同をあらわす応答、c) 前の話者の質問に対する否定の返答、d) 前の話者の陳述に対する同意をあらわす応答である。いずれも、映画の話の展開にとって重要な場面での会話にあらわれている。応答の内容は、応答者の口調や表情、身振りから推測可能である。以下、複数の例があった a) と b) の例を挙げる。

(29) は a) 前の話者に聞き返す応答を含む例である。Nash の妻 Alicia は、Nash がそれまで「仕事」と言っていたのは幻覚である可能性によりやく気づいて、事実を探ろうとしている。Nash の昔からの友人でもあり職場の同僚でもある Bender 1 と Sol 1 の説明に対する Alicia の “Was he?” という応答は、彼らの説明が本当に事実なのか、真剣に問いたすものである。Alicia の真剣さに押されて、この後、友人たちはようやく Nash が言っていたことは事実ではない可能性が高いことを認めている。Alicia の応答は、Alicia にとっては Nash が幻覚を見ていたことを知るためのきっかけとなり、Nash の友人たちにとってはそれまで秘かに抱いていた疑いを初めてはっきりと認めるためのきっかけとなるという点で重要性が高い応答である。Alicia が聞き返しているということは、“Was he?” が上昇調で言われていることから推測可能である。

(29) Bender 1: He said he was doing code-breaking, that it was eyes-only.

暗号の解読だと言ってたが 彼だけの仕事でね

Sol 1: Top secret, part of the military.

軍の機密で...

Alicia: Was he? (01:12:38) (上昇調で。目立つ身振り、表情なし)

本当に？

Sol 2: It was possible, you know? Directives come down all the time that some of us aren't cleared for. It was possible.

いろいろ秘密の指令を // 受けてる様子はあったけど...

Bender 2: Possible, but... not likely.

本当かどうかは疑わしい

(A Beautiful Mind)

(30) は b) 前の話者の提案に強い賛同をあらわす応答を含む例である。好きな女の子に告白するのをためらっていた Sam が説得に応じてようやく告白する決心をしたので、義父の Daniel は強い賛同の意を、言葉に加えて口調や身振りでもあらわしている。Daniel の応答は二人の心が本当に一つになったことをあらわす重要な応答である。

(30) Sam 1: OK, Dad. Let's do it. Let's go get the shit kicked out of us by love.

分かったよ パパ 彼女を愛でぶっ飛ばしてやる

Daniel: Yes. (01:56:50) (力強い声で。Sam とハイタッチをして)

いいぞ！

Sam 2: Just give me one sec...

待ってて

(*Love Actually*)

### 3) 推測可能性が低く、重要性が低い応答

このカテゴリーの応答の例は数が比較的多く、機能も多岐にわたり、a) 前の話者の質問に対する肯定の応答、b) 依頼の応諾・依頼に応じる行為に対する感謝の念をあらわす応答、c) 自分の質問に対する返答の了解をあらわす応答、d) 前の話者の陳述に対する否定をあらわす応答、e) 前の話者の依頼の応諾、f) 前の話者の質問に対する否定の返答、g) 前の話者の陳述への同意をあらわす応答、h) 前の話者に聞き返す応答、i) 前の話者の謝罪に対する応答が含まれている。以下、数をもっとも多かった a) と、このカテゴリーに特徴的に見られた b) と c) の例を挙げる。

(31) は a) 前の話者の質問に対する肯定の応答と c) 自分の質問に対する返答の了解をあらわす応答を含む例である。(32) は b) 依頼の応諾に対する感謝の念をあらわす応答を含む例である。(31) と (32) はともに、会社社長である Harry が部下の女性 Mia のためにネックレスを買おうとして百貨店の店員 Rufus とやりとりをしている会話である。(31) の Harry の応答は、ギフト包装をするかという Rufus 1 の質問に対する肯定の応答であり、Rufus 2 は、その Harry の返答の了解をあらわす応答である。(32) の Harry 2 の応答は、Harry 1 の依頼に Rufus 1 が応えたのに対する感謝の念をあらわす応答である。Harry が Mia にネックレスを買ったことは、後に Harry と妻の関係に影響を及ぼすのであるが、Harry と百貨店の店員との会話は、ストーリーの主要な展開には直接の関係がない。また、Harry と Rufus の応答は、客と店員との間でごく普通にみられるものであって、Harry の人物描写に貢献するものではない。よって、これらの応答は重要性が低いと判断される。

#### (31) Rufus 1: Would you like it...gift-wrapped?

ギフト用の— // 包装を？

Harry: Yes, all right. (01:18:20) (目立つ身振り、表情なし)

ああ

Rufus 2: Lovely. (目立つ身振り、表情なし)

お待ちを

(*Love Actually*)

#### (32) Harry 1: Look, could we be quick.

悪いが急いでくれ

Rufus 1: Certainly, sir. Ready in the flashiest of flashes. There.

分かりました 目にも留らぬ速さで

Harry 2: That's great. (01:18:48) (少し微笑んで)

ありがとう

Rufus 2: Not quite finished.

まだです

(*Love Actually*)

#### 4) 推測可能性が低く、重要性が高い応答

このカテゴリーの応答の例は、訳出されている応答の中でもっとも数が多く、機能も多岐にわたっていた。その中でも多かったのが、多い順に、a) 前の話者の質問に対する肯定の返答、b) 前の話者の陳述に対する同意をあらわす返答、c) 前の話者の陳述に対する応答者の心情をあらわす応答である。この他に、d) 前の話者の質問に対する否定の返答、e) 前の話者に聞き返す応答、f) 前の話者の依頼への応諾の返答、g) 前の話者の陳述の否定、h) 前の話者の発話の了解をあらわす応答も見られた。いずれの応答も、映画の話の展開において重要な意味を持つものや、主要登場人物の心情や態度をあらわすものである。しかし、顕著な表情や身振りを伴わず、応答の内容を応答者の表情や身振りから読み取ることは容易ではない。以下、典型的な例を挙げる。

(33) は a) 前の話者の質問に対する肯定の返答を含む例である。自分の幻覚をようやく自覚した Nash は、Dr. Rosen 1 から幻覚が今もあるかと尋ねられ、幻覚があることを認めている。この返答は、Nash の今後の治療方針や Nash と家族の生活に大きな影響を持つものであり、医師も妻の Alicia も、Nash の答えを真剣な面持ちで待っていた。また、幻覚を認める返答は、彼が薬の服用をやめていたことも示唆し、Dr. Rosen 2 は、薬をやめた理由を Nash に訊ねている。Nash は応答する際にごく軽く頷いているが顕著ではなく、この身振りから応答の内容を推測することは容易ではない。

(33) Dr. Rosen 1: You see them now?

今も いるか？

Nash: Yes. (01:39:30) (ごく僅かに頷いて)

ああ

Dr. Rosen 2: Why did you stop your meds?

なぜ薬をやめた？

(*A Beautiful Mind*)

(34) は d) 前の話者の質問に対する否定の返答と e) 前の話者に聞き返す応答を含む例である。母親を亡くした義理の息子 Sam の悩みがわからず心配した Daniel が Sam に何を悩んでいるのかと訊ね、片思いの恋をしているのだという答えを得た直後の会話である。Sam 1 は、彼の恋心を軽く捉えて、恋をするには早すぎるのではないかと訊ねる義理の父親 Daniel に対し否定の返答をし、自分の気持ちが真剣なものであることを伝えている。Sam 2 は、Sam が恋をしていると知った Daniel がなぜ “I’m a little relieved” と言ったのか理解できず、理由を尋ねている。この質問がきっかけとなり、Daniel は Sam の気持ちをしっかり理解し、この後、二人の信頼関係がさらに深まっていく。Sam 1 と Sam 2 の応答はいずれも、Sam の心情をあらわすとともに、Sam と Daniel が理解し合うために重要な役割を果たしているため、重要性が

高い。目立つ身振りや表情を伴わないため、応答の内容を推測することは難しい。

(34) Daniel 1: Aren't you a bit young to be in love? (笑いながら)

恋は まだ早すぎないか?

Sam 1: No. (29:20) (首をごく僅かに横に振って)

本気だよ

Daniel 2: Ah, well. OK, well... I'm a little relieved.

そうか 分かった // 聞いてホッとした

Sam 2: Why? (29:30) (眉をしかめて)

なぜ?

Daniel 3: Because I thought it'd be something worse...

もっと悪い想像をしてた

Sam 3: Worse than the total agony of being in love?

片思いより悪いこと?

Daniel 4: Er... No, you're right. Total agony.

そうだな 片思いはつらい

(Love Actually)

### 3.3 まとめ

3.1 節と 3.2 節で見た結果をまとめると、省略されている応答は、ごく少数の例外を除いて、すべて推測可能性が高いものである。重要性が高い応答であっても、応答者の口調や表情、身振りに応答者の心情がよくあらわされているものは省略されている。「推測可能性が低く、重要性が高い応答」が省略されている例は見つからない。一方、訳出されている応答には、推測可能性と重要性の 4 種類の組み合わせの例がすべて見られる。しかし、「推測可能性が高く、重要性が低い応答」の例は少数であるとともに、その機能も限定的で、前の話者の質問に対する否定の返答や前の話者の陳述に対する疑いをあらわす応答など、主に否定的な内容をあらわすものである。この結果を表にまとめると、表 2 のようになる。

表 2 英語映画の短い応答の種類と日本語字幕における省略・訳出

応答の種類(カテゴリー)	省略	訳出
1) 「推測可能性が高く、重要性が低い応答」	○	△ <sup>3</sup>
2) 「推測可能性が高く、重要性が高い応答」	△ <sup>1</sup>	△
3) 「推測可能性が低く、重要性が低い応答」	△/× <sup>2</sup>	○
4) 「推測困難性が低く、重要性が高い応答」	×	○

○ 例が多数      △ 例が少数      × 例なし

注 1 いずれの例においても、応答者の心情が、応答者の口調、表情、身振りに顕著にあらわされ



ている。

注 2 例はごく少数であり、しかも、1) 「推測可能性が高く、重要性が低い応答」に分類できる可能性もあるものである。

注 3 例は主に、前の話者の質問に対する否定の返答や陳述に対する疑いをあらわす応答など、否定的な内容をあらわす応答である。

表 2 をもとに、カテゴリー別に省略・訳出を考察すると、次のような傾向があることがわかる。「推測可能性が高く、重要性が低い応答」は、否定的な内容の応答を除き、基本的に省略される。「推測可能性が高く、重要性が高い応答」は、省略される場合と訳出される場合とがある。省略されるのは、応答の表現自体よりも応答者の口調や表情、身振りに応答者の心情がはっきりとあらわされている場合である。一方、訳出されるのは、応答者の口調や表情、身振りとともに、応答の表現の内容も話の展開や応答者の心情をあらわすのに貢献している場合である。「推測可能性が低い応答」は、「重要性の高さ」の度合いにかかわらず、基本的に省略されず、訳出される。

#### 4. まとめ

本稿では、短い応答が字幕において省略される現象に注目し、どのような応答が省略され、どのような応答が訳出されるのかを、日本語映画の英語字幕と英語映画の日本語字幕を対象として考察を行った。省略されている応答と訳出されている応答を、その意味や機能が、応答者の口調や表情、身振り、場面、前後の文脈などからどのくらい推測され得るかという「推測可能性」の度合いと、映画の主な話の展開やテーマ、主要な登場人物の性格や心情、態度等の人物描写に大きな貢献をするかどうかという「重要性」の度合いの二つの視点から考察した。その結果、次のようなことが日本語映画の英語字幕と英語映画の日本語字幕に共通して見られることが明らかとなっている。

第 1 に、省略されている応答は、ごく一部の例外を除き、推測可能性が高いものである。短い応答が省略されるための条件は、推測可能性の高さであると言えよう。なお、推測可能性が高い応答は、ほとんどの場合、場面や前後の文脈にくわえ、応答者の口調や表情、身振りによって推測可能性が高められている。

Diaz Cintas and Remael (2007) は、字幕において context-confirming な節は省略され、context-renewing な節は保持される場合が多いと主張している。彼らは context-confirming と context-renewing という概念を定義していないが、本稿の結果を彼らの主張と比較すると、短い応答に関する限り、context-confirming というのは意味・機能の推測可能性が高いことと対応し、context-renewing というのは意味・機能の推測可能性が低いことと対応すると考えられる。本稿の結果は、Diaz Cintas and Remael の知見を裏付けるものとなっている。

第 2 に、「推測可能性が高く、重要性が低い応答」は基本的に省略される。これらは、省略されても視聴者の理解に支障がないため、省略されると考えられる。視聴者の立場から見ると、字幕を読むという負荷が軽減されるという効果がある。このカテゴリーで省略されている応答は、

日本語映画、英語映画ともに、機能はかなり限定されており、しかもほぼ共通である。このカテゴリの応答で訳出されているのは、日本語映画の場合は、表現形式が比較的長いもの、英語映画の場合は、主に応答の意味が否定的なものである。表現形式が比較的長いものは、音声の持続時間も長く、字幕を作成しやすいために訳出されるのではないかと考えられる。意味内容が否定的な応答は、相手の期待や意見に反するものであるので省略が避けられる傾向があるのではないかと考えられる。

第3に、「推測可能性が高く、重要性が高い応答」は、省略される場合と訳出される場合がある。訳出されているのは、応答の表現自体の意味が重要性を担う場合である。一方、省略されているのは、応答者の口調や表情、身振りに、応答者の心情や性格・態度がよくあらわされている場合である。字幕があると、視聴者は、映像や音声に十分に注意を払うことができない可能性がある。そこで、映像や音声に重要な情報が含まれるような応答は、これらの非言語的な側面に視聴者の注意をしっかりと向けるために、戦略的に省略されるのではないかと考えられる。つまり、省略が、戸田(1997)が求めている、映像や音声を「生かす」ことのために選択されているのではないかと考えられる。牛江・西尾(2002)の文の要素の省略の研究では、重要性が高い文の要素は省略されにくいということが示唆される結果が出ており、本稿の結果は、それとは異なるものである。これは、短い応答は、話者の口調や表情、身振りが言語表現よりも雄弁である(より重要な情報を担う)場合があるという点で、文の要素とは性質が異なるためではないかと考えられる。

第4に、「推測可能性が低い応答」は、重要性の度合いにかかわらず、基本的に、訳出される。「推測可能性が低く、重要性が高い応答」は必ず訳出される。これらの応答が字幕で省略されると、視聴者の理解に支障が生じるので、これは当然のことと言える。「推測可能性が低く、重要性が低い応答」も、ほとんどの場合、訳出される。推測可能性が低い応答は、たとえ重要性が低くとも、省略されると視聴者の理解が容易でなくなるため、訳出されると考えられる。

最後に、応答の機能と応答の省略・訳出の関係について簡単に述べる。日本語映画の英語字幕と英語映画の日本語字幕に共通して、短い応答の大半をしめる5種類の機能の応答(具体的には、a)前の話者の発話の理解・了解をあらわす応答、b)前の話者の質問への肯定の返答、c)前の話者の依頼・指示・誘いなどへの応諾の返答、d)前の話者に聞き返す応答、e)前の話者の陳述への同意をあらわす応答)は、省略される場合もあれば、訳出される場合も見られる。したがって、一般的に、応答の機能によって省略されるかどうかは決まらなると言える。ただし、前の話者の質問に対する否定の返答は、省略されず、訳出されている。推測可能性が高く、重要性が低い場合であっても訳出されているので、否定の返答は、推測可能性や重要性の度合いにかかわらず、省略になじまない可能性がある。

以上をまとめると、短い応答が省略されるか、訳出されるかには、視聴者の理解の容易さと、音声や映像の情報の最大限の活用が考慮されていると言えよう。本稿の結果は、視聴覚翻訳(audio-visual translation)の代表的なものの一つである字幕翻訳において、音声や映像という非言語的な情報が重要な役割を果たしていることを改めて示すものである。字幕における省略は、字幕の字数や時間的な制約のもと行われるという面とともに、音声や映像を最大限に生かすために積極的に行われている側面もある可能性を、短い応答の省略の現象は示し

ていると思われる。

.....  
【著者紹介】

牛江ゆき子 (USHIE Yukiko) 文京学院大学外国語学部教授。専門は英語学(テキスト言語学・語用論)。主な論文に「定冠詞と不定冠詞の表出的機能について」(『英語青年』第 150 巻 / 第 3 号 2004 年) など。

西尾道子 (NISHIO Michiko) お茶の水女子大学名誉教授。専門は英語学(語用論)。主な論文に「日英同時通訳における情報構造の保持と通訳文の語順に関する一考察」(『お茶の水女子大学人文科学紀要』第 53 巻 2000 年) など。

.....  
【注】

1) 本稿でデータ収集に用いた日本語映画の DVD は以下のとおりである。

『ALWAYS 続・三丁目の夕日』[DVD] 山崎貴監督 バップ 2008 英語字幕 Linda Hoaglund

『Shall we ダンス?』[DVD] 周防正行監督 角川ヘラルド映画 2006 英語字幕 Kennedy Taylor and S.J. Walton

2) 本稿でデータ収集に用いた英語映画の DVD、ソフトウェア、スクリプトは以下のとおりである。

*A Beautiful Mind* [ソフトウェア] ロン・ハワード監督 Universal Studios and DreamWorks LLC. 2001 超字幕(ソースネクスト) 日本語字幕 戸田奈津子

*Love Actually* [DVD] リチャード・カーティス監督 Universal Pictures 2004

『ラブ・アクチュアリー』(DHC 完全字幕シリーズ) DHC 2004

【参考文献】

Diaz Cintas, J. and A. Remael (2007). *Audiovisual Translation: Subtitling*. Manchester, UK: St. Jerome Publishing.

Hatim, B. and I. Mason (1997). *The Translator as Communicator*. London: Routledge.

牛江ゆき子・西尾道子 (2002) 「英語の映画におけるせりふと日本語の字幕の比較: 文の要素の省略について」『お茶の水女子大学人文科学紀要』 55 巻、111-130.

小林祐子 (1975) 『身ぶり言語の日英比較』 ELEC 出版部

戸田奈津子 (1997) 『字幕の中に人生』 白水社

藤濤文子 (2007) 『翻訳行為と異文化間コミュニケーション—機能主義的翻訳理論の諸相—』 松籟社

